

西丹沢方面の自然公園情報

日付：令和3年3月6日（土）

コース：つつじ新道展望園地－檜洞丸－犬越路避難小屋

※犬越路から用木沢出合・神ノ川方面へは接続する林道が通行止めとなっている為、通行出来ませんのでご注意ください。

天気：晴れ

気温：15度（12時頃、つつじ新道にて）

外出が難しい方も多い社会状況ですが、パークレンジャーの活動情報を見てお楽しみください。

<登山道情報>

- 檜洞丸山頂は木々に囲まれて展望はありませんが、西側の山頂直下にほんの少し足を延ばせば、雄大な展望が広がっています。



- 美しいブナ林が残るイメージのある檜洞丸ですが、山頂周辺ではブナの立ち枯れが目立ちます。ブナの立ち枯れの原因は、大気汚染・水分ストレス・ブナハバチの大発生などが複合的に関係していると考えられています。



- ブナ林は天然の水がめといわれるように、多くの水を貯え、私達にとって大切な水源林となっています。豊かな水源林をこの先に残していくためにも、水源環境保全税を活用して植生保護柵を設置し、土壌の保全や自然林の天然更新を図っています。

水源環境保全税の詳細はこちら <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/cnt/f7006/index.html>



植生保護柵



ブナの実

<自然情報>

- 登山道に小枝が落ちていました。よく見ると冬芽の部分がきれいに食べられています。おそらく、モモンガかムササビの食痕だと考えられます。食べ物の少ない季節ですが、春に向けて芽を膨らませる冬芽を食べて乗り切っているようです。



- 左 カエデ類の冬芽を食べた食痕
- 右上 カエデ類の冬芽
- 右下 赤く色づく冬芽

